(7) 削除ツールの利用後、本ツールは不要となりますので、「certRemove.vbs」ファイルを削除します。ファイルを選択してからキーボードの「Delete」キーを押してください。

以上で、削除ツールによる旧証明書の削除は完了となります。

3.2.2 手動による旧証明書の削除

削除ツールが利用できない場合は、以下の手順に従い対象の旧証明書を手動で削除して ください。

3.2.2.1 Edge 利用の場合

- (1) 「Edge」を起動します。
- (2) 右上の「…」をクリックし、メニューから「設定」をクリックします。

aboutblank x +	- <u> </u>
\leftarrow \rightarrow C \textcircled{a} $$ about:blank	 新しいタブ Ctrl+T
	 計しいウィンドウ Ctrl+N
	こ 新しい InPrivate ウィンドウ Ctrl+Shift+N
	<i>π</i> -μ − 100% + μ ^π
	☆ お気に入り Ctrl+Shift+O
	General Ctrl+Shift+Y
	^で 履歴 Ctrl+H
	<u>↓</u> ダウンロード Ctrl+J
	אד דע די א
	☞ パフォーマンス
	G 印刷 Ctrl+P
	Web キャプチャ Ctrl+Shift+S
	它 共有
	〇 ページ内の検索 Ctrl+F
	A ^N 音声で読み上げる Ctrl+Shift+U
	Internet Explorer モードで再読み込みする
	その他のツール >
	珍 設定
	 ⑦ ∧ルプとフィードバック >
	Microsoft Edge を閉じる

(3) 左側のメニューから「プライバシー、検索、サービス」をクリックします。



(4) 画面を下の方へスクロールし、「セキュリティ」の「証明書の管理」項目から、右 側にある「ご」のマークをクリックします。

□ 錄 設定 × ← → C ⋒ @ Edge	+ dge:// settings /privacy	τõ	£≡	G	一		×
	△ 組織によるブラウザーは管理されています						
設定	セキュリティ Microsoft Edge のセキュリティ設定を管理						
 Q 設定の検索 ③ プロファイル 	証明書の管理 HTTPS/SSLの証明書と設定を管理します				C	3	
 □ ブライバシー、検索、サービス ○ 外観 	Microsoft Defender SmartScreen Microsoft Defender SmartScreen を使って悪意のあるサイ	イトやダウンロードカ	いら保護する	5	۵ 🧲)	

(5) デジタル証明書の一覧画面が表示されます。

「発行先」の欄に同一名の「認証コード 1」が2つ表示されていることを確認します。

なお、1 つのみ表示されている場合は、削除する必要はございませんのでこのまま [閉じる] ボタンを押して終了してください。

証明書				×
目的(<u>N</u>):	<রুথ্৴>			~
個人 ほかの人 中国	間証明機関(言頼されたルート証明機	関 信頼された発行元	信頼されなく
発行先 ■ NAC0022N ■ NAC0022N	発行者 netNACCS. S netNACCS. S	有効期限 2022/05/03 Secu 2022/05/03 Secu 2023/05/30	フレンドリ名 <なし> <なし>	
インポート(<u>1</u>) エクスオ	ポ−ト(<u>Ε</u>)	削除(<u>R</u>)		詳細設定(<u>A</u>)
証明書の目的				
				表示(<u>V</u>)
				閉じる(<u>C</u>)

- (6) 「有効期限」の欄に表示されている日付を確認し、古い日付の方の証明書をクリックします。
- (7) [削除] ボタンを押します。

証明書				×	
目的(<u>N</u>):	<রুম্৴>			~	
個人 ほかの人 中	間証明機関 信頼さ	れたルート証明機関	信頼された発行	元 信頼されな 4 🕨	
発行先	発行者	有効期限	フレンドリ名		
A NAC0022N	netNACCS. Secu	2023/05/30	に 同一名 ち、7	名の「認証コー 有効期限が古い	・ド 1」 の う い方を選択
インポート(<u>1</u>) エクス 証明書の目的	ポート(<u>E</u>) 削除	È(<u>R</u>)		詳細設定(<u>A</u>)	
<すべて>				表示(⊻)	
				閉じる(<u>C</u>)	

(8) 確認メッセージが表示されますので、[はい] ボタンを押します。
 ※ここで削除すると元に戻せませんので、今一度ご確認ください。

証明書		\times
	証明書を使って暗号化データの暗号化を解除できません。証明書を削除します か?	
	はい(1) いいえ(1)	

(9)	旧証明書が削除され、	更新された証明書のみ表示されます。
(J)		$\Sigma M C A U C H U C H U C A U $

[閉じる] ボタンを押して、画面を閉じます。

証明書							×
目的(<u>N</u>):		<র্থ্ব					~
個人	ほかの人	中間証明機関	信頼され	たルート証明機	関(信頼された発行元	信頼されな 4 🕨
発行	先	発行者		有効期限	עכ	ハンドリ 名	
	AC0022N	netNACCS	. Secu	2023/05/30	 <7a	<u>الم</u> دل>	
インポー	· ト() I	クスポート(<u>E</u>)…	削除(<u></u>	<u>R</u>)			詳細設定(<u>A</u>)
一証明書	の目的						
							表示(<u>V</u>)
							閉じる(<u>C</u>)

(10) 「Edge」を終了します。

以上で旧証明書の削除は完了となります。

3.2.2.2 Chrome 利用の場合

- (1) 「Chrome」を起動します。
- (2) 右上の「:」をクリックし、メニューから「設定」をクリックします。

③ 新しいタブ	× +	✓ - □ ;
\leftrightarrow \rightarrow C (🖻 🖈 🖬 😫
		新しいタブ Ctrl+T 新しいウィンドウ Ctrl+N 新しいシークレット ウィンドウ Ctrl+Shift+N
		履歴 ダウンロード Ctrl+J ブックマーク
	Goode	ズーム - 100% + 【】 印刷 Ctrl+P
	Coogle	キャスト 検索 Ctrl+F その他のツール
		編集 切り取り コピー 貼り付け
	Q Google で検索または URL を入力	設定 ヘルプ
		終了
	• +	■ 組織によって管理されています
	ウェブストア ショートカッ…	

(3) 左側のメニューから「プライバシーとセキュリティ」をクリックします。

•	設定 ×	+		\sim	-	×
\leftarrow	→ C ③ Chrome chrome	://settings	Ê	☆	*) E
0	設定	Q、 設定項目を検索				
•	Google の設定	たたののブラウザは組織によって管理されています Coopela の設定				
Ê	自動入力					
•	プライバシーとセキュリティ					
۲	デザイン					

(4) 「プライバシーとセキュリティ」から「セキュリティ」をクリックします。



(5) 画面を下の方へスクロールし、「詳細設定」の「証明書の管理」項目から、右側に ある「ご」のマークをクリックします。

\$ 5	定 - セキュリティ × -	+			\sim	-	[\times
← -	→ C () Chrome chrome://	/settings	/security	Ē	☆	*			:
0	設定	Q	設定項目を検索						
•	Google の設定		Chrome では、定期的にパスワードをオンライン上の公開リストと照合し、確認 その際、パスワードとユーザー名は Google を含め誰も読み取ることができない わます。この機能は Google アカウントにログインすると有効になります。	して よう	います。 暗号化る	, È			1
Ê	自動入力								
0	プライバシーとセキュリティ	0	保護なし(推奨されません) 危険なウェブサイト、ダウンロード、拡張機能から保護されていません。セー 護は、Gmail や Google 検索など他の Google サービスで利用可能な場合は、引	7 ブラ き続き	ラウジン E有効で	ッグに、 す。	よる伢		
۲	デザイン								
Q	検索エンジン	詳細							
	既定のブラウザ	移動示し	ダエネな死を使用する 先を HTTPS にアップグレードし、HTTPS をサポートしていないサイトは読み込 ます	り前に	「警告を	表	0		
Ģ	起動時	セキこの	ユア DNS を使用する 設定は管理対象のブラウザでは無効です						ł
詳細	設定 🔹								
	拡張機能 【2]	セキ	ートフォンの盲理 ユリティ キーとして使用するスマートフォンを管理します				•		
0	Chrome について	証明 HTT	<mark>書の管理</mark> PS / SSL の証明書と設定を管理します				Ē		
		Goo 個人	g le の高度な保護機能プログラム の Google アカウントを標的型攻撃から保護します				Ľ]	

(6) デジタル証明書の一覧画面が表示されます。

「発行先」の欄に同一名の「認証コード 1」が2つ表示されていることを確認します。

なお、1 つのみ表示されている場合は、削除する必要はございませんのでこのまま [閉じる] ボタンを押して終了してください。

証明書				×
目的(<u>N</u>):	<すべて>			~
個人 ほかの人 中国	間証明機関	信頼されたルート証明機問	周 信頼された発行元	信頼されなく
発行先 ■NAC0022N ■NAC0022N	発行者 netNACCS. netNACCS.	有効期限 5550000000000000000000000000000000000	フレンドリ名 <なし> <なし>	
インボート() エクスフ	<u>t[≈]</u> −ト(<u>E)</u>	削除(<u>R</u>)		詳細設定(<u>A</u>)
証明書の目的				表示(⊻)
				閉じる(<u>C</u>)

- (7) 「有効期限」の欄に表示されている日付を確認し、古い日付の方の証明書をクリックします。
- (8) [削除] ボタンを押します。

E明書					×	<
目的(<u>N</u>):		<র্থ্য			~	
個人	ほかの人	中間証明機関(言頼されたルート証明機	浅関 信頼された発	行元 信頼されな (・)	
発行疗 化 同 NA	t C0022N	発行者 netNACCS.S	有効期限 ecu2022/05/03	フレンドリ名		
I⊊ NA	C0022N	netNACCS. S	ecu 2023/05/30	^て ゆ 同一 ち、	ー名の「認証コー 有効期限が古い	-ド1」のう \方を選択
インポート	ト(I) I D目的	クスポート(<u>E</u>)	削除(<u>R</u>)		詳細設定(<u>A</u>)	
<ৢৢৢয়৾৻৻	>				表示(<u>V</u>)	
					閉じる(<u>C</u>)]

(9) 確認メッセージが表示されますので、[はい] ボタンを押します。※ここで削除すると元に戻せませんので、今一度ご確認ください。



(10) 旧証明書が削除され、更新された証明書のみ表示されます。

[閉じる] ボタンを押して、画面を閉じます。

証明書								Х
目的(<u>N</u>):		<すべて>						\sim
個人(ほ	かの人中間	間証明機関	信頼され	たルート証明機関	関 亻	信頼された発行元	信頼されな	۲
発行先		発行者		有効期限	フレ	ソドリ名		
NAC0	022N	netNACCS.	Secu	2023/05/30	<73	(5)の にし>		
インポート(1)	エクスオ	ポート(E)	削除()	र)			詳細設定(A)
証明書の目	的		1221121(2					·
							表示(\)	
							3×11(⊻)	
							閉じる(<u>C</u>)	

(11) 「Chrome」を終了します。

以上で旧証明書の削除は完了となります。